

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 7 年 3 月 26 日 (2025.3.26)

【公開番号】 特開 2025-26852 (P2025-26852A)
【公開日】 令和 7 年 2 月 26 日 (2025.2.26)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2025-035
【出願番号】 特願 2024-187693 (P2024-187693)
【国際特許分類】

A 61 B 17/00 (2006.01)

A 61 B 17/3211 (2006.01)

【F I】

A 61 B 17/00

A 61 B 17/3211

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 3 月 17 日 (2025.3.17)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

心不全を処置するためのデバイスアセンブリであって、
該デバイスアセンブリは、

第 1 の管腔を有する第 1 のカテーテルと、

前記第 1 のカテーテルに取付けられ、当該第 1 のカテーテルの長さに沿って配置される組織スタビライザと、

前記第 1 のカテーテル上に摺動可能に係合する第 2 の管腔を有する第 2 のカテーテルと、

前記第 2 のカテーテルに取付けられたカッターと、を備え、

前記組織スタビライザは、前記組織安定期と前記カッターとの間に心房中隔壁を挟み込、当該心房中隔壁を前記第 2 の管腔内にテント状に押し込むように構成される、デバイスアセンブリ。

30

【請求項 2】

前記組織スタビライザは、前記心房中隔壁を前記カッターに係合し、前記組織スタビライザを前記第 1 のカテーテルの遠位端に向かって曲げ、前記心房中隔壁を前記第 2 の管腔内に引き込む、ために、引っ込められるように構成される、請求項 1 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 3】

前記カッターの寸法は前記組織スタビライザの寸法よりも 1 % ~ 15 % 大きい、請求項 1 に記載のデバイスアセンブリ。

40

【請求項 4】

前記組織スタビライザの直径が前記カッターの直径よりも小さいことにより前記心房中隔壁のテンティングを可能にし、前記カッターによって形成される開口部が前記カッターの直径よりも大きくなるように構成される、請求項 1 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 5】

前記第 1 のカテーテルの前記第 1 の管腔内で摺動可能に係合可能な同軸ガイドワイヤーをさらに備える、請求項 1 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 6】

50

前記同軸ガイドワイヤは、前記第 1 のカテーテルの前記第 1 の管腔の遠位端から延び、哺乳動物の心臓の右心房と左心房との間の前記心房中隔壁内の最初の穿刺部位を略卵円窩で通過して、前記デバイスアセンブリが前記左心房内に入るための作業経路を提供するように構成される、請求項 5 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 7】

前記第 1 のカテーテルの前記遠位端が、前記同軸ガイドワイヤーの軌道に沿って横断し、前記心房中隔壁の前記最初の穿刺部位を通過するように構成されることで、前記組織スタビライザも前記心房中隔壁を越えて前記左心房内に延びる、請求項 6 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 8】

同軸位置合わせ要素をさらに備える、請求項 1 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 9】

前記カッターは、開口端の円筒形状構造を備える、請求項 1 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 10】

前記第 1 の管腔の遠位端は、前記心房中隔壁を貫通するように構成された穿刺先端部を備える、請求項 1 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 11】

前記組織スタビライザは、
タイン、

少なくとも 1 つの曲がったワイヤー、
少なくとも 1 つの支柱、または、

これらの組み合わせ、
を含む、請求項 1 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 12】

カッター材料は、
ニチノール、
ニッケルチタン、
ステンレス鋼、
銅アルミニウムニッケル、
亜鉛金銅、または、
これらの組み合わせ、

を含む形状記憶合金を含む、請求項 1 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 13】

組織スタビライザ材料は、
ニチノール、
ニッケルチタン、
銅アルミニウムニッケル、または、
亜鉛金銅、

を含む形状記憶合金を含む、請求項 1 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 14】

中央送達管腔を有する送達カテーテルをさらに備える、請求項 1 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 15】

前記送達カテーテルは、操縦可能または湾曲可能である、請求項 14 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 16】

前記第 1 のカテーテルが前記中央送達管腔内に摺動可能に係合される、請求項 14 に記載のデバイスアセンブリ。

【請求項 17】

前記第 2 のカテーテルが前記中央送達管腔内に摺動可能に係合される、請求項 1 4 に記載のデバイスアセンブリ。

10

20

30

40

50